搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルLとの差は、次の式の値以下であること。なお、fは搬送波の中心周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが−3.92MHz以下の場合：$L=23$［dB］

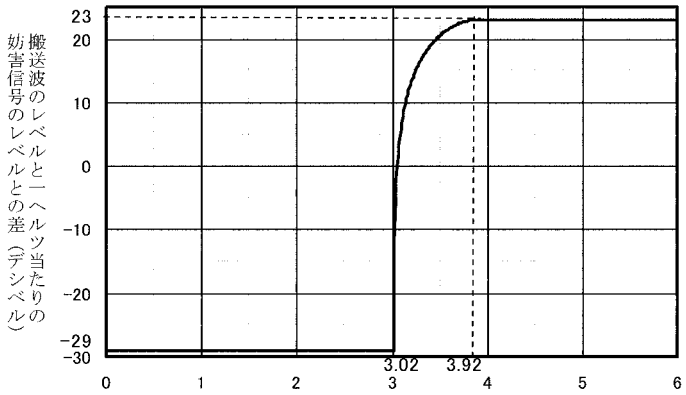
・fが−3.92MHzを超え−3.02MHz未満の場合：

$$L=23+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1-\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f+6)-f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\ \text{［dB］}$$

ただし、$f_0=5.057$［MHz］、$\alpha=0.18$

・fが−3.02MHz以上の場合：$L=-29$［dB］

別図第八号　デジタル有線テレビジョン放送方式となっている有線テレビジョン放送等（搬送波の変調の型式が六四値直交振幅変調となっているものに限る。）の上側周波数のスペクトルマスク



搬送波の中心周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

一ヘルツ当たりの搬送波のレベルの平均値を基準値（０dB）とする。

搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルLとの差は、次の式の値以下であること。なお、fは搬送波の中心周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが3.02MHz以下の場合：$L=-29$［dB］

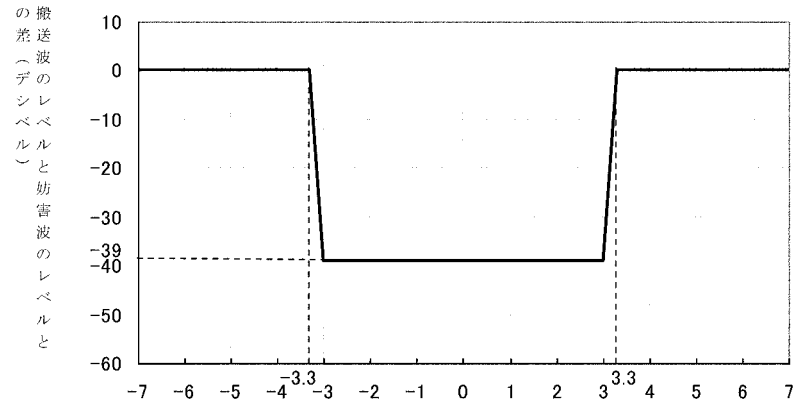
・fが3.02MHzを超え3.92MHz未満の場合：

$$L=23+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1+\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f-6)+f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\ \text{［dB］}$$

ただし、$f_0=5.057$［MHz］、$\alpha=0.18$

・fが3.92MHz以上の場合：$L=23$［dB］

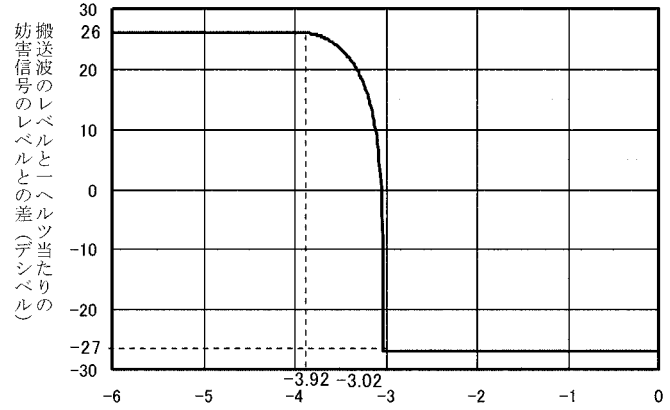
別図第九号　デジタル有線テレビジョン放送方式となっている有線テレビジョン放送等（搬送波の変調の型式が六四値直交振幅変調となっているものに限る。）のスペクトルマスク



搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

搬送波のレベルの平均値を基準値（０ｄＢ）とする。

別図第十号　標準デジタルテレビジョン放送方式の下側周波数のスペクトルマスク



搬送波の中心周波数から1/7MHz減じた周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

一ヘルツ当たりの搬送波のレベルの平均値を基準値（０dB）とする。